

4. (参考)回答者集団の特性 ～「育児と仕事の両立に関する調査」の回答者と国民全体の比較

生活程度

- ・生活の程度は、世間一般からみて、どうですか
「平成 14 年国民生活に関する世論調査」(内閣府)との比較

生活程度(生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。)

(%)

	回答者数(人)	上	中の上	中の中	中の下	下	わからない	不明
合計	100.0 (2,047)	0.7	11.5	39.6	32.1	10.7	5.3	0.1
	100.0 (7,247)	0.7	9.7	56.1	24.0	6.5	3.0	-
男性	100.0 (1,042)	0.9	11.9	38.7	33.8	10.4	4.2	0.2
	100.0 (3,352)	0.8	9.6	53.6	26.7	6.7	2.6	-
女性	100.0 (1,005)	0.6	11.0	40.5	30.3	11.0	6.4	0.1
	100.0 (3,895)	0.6	9.8	58.3	21.6	6.4	3.4	-
20代(男女計)	100.0 (728)	1.2	8.9	31.7	36.0	15.7	6.3	0.1
	100.0 (839)	1.7	11.1	58.6	19.2	5.2	4.2	-
20代(男性)	100.0 (391)	1.3	9.0	30.2	38.9	15.9	4.6	0.3
	100.0 (404)	2.0	11.4	54.7	21.5	6.2	4.2	-
20代(女性)	100.0 (337)	1.2	8.9	33.5	32.6	15.4	8.3	0.0
	100.0 (435)	1.4	10.8	62.3	17.0	4.4	4.1	-
30代(男女計)	100.0 (1,170)	0.4	12.9	43.3	30.5	8.3	4.4	0.2
	100.0 (1,130)	0.4	9.7	57.7	25.6	4.2	2.3	-
30代(男性)	100.0 (532)	0.8	13.7	43.2	31.6	7.5	3.0	0.2
	100.0 (502)	0.6	10.8	51.4	30.9	3.8	2.6	-
30代(女性)	100.0 (638)	0.2	12.2	43.4	29.6	8.9	5.5	0.2
	100.0 (628)	0.3	8.9	62.7	21.3	4.6	2.1	-
40代(男女計)	100.0 (149)	0.7	12.8	48.3	25.5	5.4	7.4	0.0
	100.0 (1,220)	0.5	10.6	57.9	23.4	5.5	2.2	-
40代(男性)	100.0 (119)	0.0	13.4	46.2	26.9	5.0	8.4	0.0
	100.0 (556)	0.5	9.4	57.7	25.9	5.2	1.3	-
40代(女性)	100.0 (30)	3.3	10.0	56.7	20.0	6.7	0.0	0.0
	100.0 (664)	0.5	11.6	58.0	21.2	5.7	3.0	-
夫婦だけ世帯(男女計)	100.0 (1,609)	0.7	10.3	55.9	26.0	5.1	2.0	-
親と子世帯(男女計)	100.0 (3,573)	0.7	10.0	56.1	23.8	6.5	2.9	-

(注)上段は「育児と仕事の両立に関する調査」結果、下段(網掛)は「平成14年国民生活に関する世論調査」結果

- 年代別にみると、今回調査の回答は 20 代を中心に全体的に下にぶれている(30 代、40 代と年齢が上がると両調査の差は縮小する)。
- 20 代では「中の上」、「中の中」と回答する率が『国民生活に関する世論調査』よりも低く、「中の下」、「下」が高い。
- 30 代では「中の上」は『世論調査』よりもやや高く、「中の中」は低く、「中の下」、「下」は高い。
- 40 代では「中の上」は『世論調査』よりもやや高く、「中の中」は低く、「中の下」はやや高い。
- 今回調査と『世論調査』の差は、今回調査対象者を就学前の子供がいる者に限定しているためと考えられる。『世論調査』では、「夫婦だけ」世帯と「親と子」世帯では回答はほとんどかわらない。

時間のゆとりの程度

- ・日頃の生活の中で、休んだり好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか
「平成14年度国民生活に関する世論調査」（内閣府）との比較

時間のゆとりの程度（日頃の生活の中で、休んだり好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。） (%)

	回答者数(人)	かなりゆとりがある	ある程度ゆとりがある	あまりゆとりがない	ほとんどゆとりがない	わからない
合計	100.0 (2,047)	2.1	32.5	39.6	25.6	0.1
	100.0 (7,247)	20.8	43.5	26.1	9.2	0.4
男性	100.0 (1,042)	3.0	34.1	40.8	22.1	0.1
	100.0 (3,352)	19.8	43.7	27.1	8.9	0.5
女性	100.0 (1,005)	1.3	30.9	38.3	29.3	0.2
	100.0 (3,895)	21.6	43.3	25.3	9.4	0.4
20代(男女計)	100.0 (728)	2.6	31.2	39.0	26.8	0.4
	100.0 (839)	13.7	46.4	28.6	11.0	0.4
20代(男性)	100.0 (391)	3.8	30.7	40.4	24.8	0.3
	100.0 (404)	14.4	47.5	28.5	9.2	0.5
20代(女性)	100.0 (337)	1.2	31.8	37.4	29.1	0.6
	100.0 (435)	13.1	45.3	28.7	12.6	0.2
30代(男女計)	100.0 (1,170)	2.0	33.2	39.5	25.4	0.0
	100.0 (1,130)	8.2	42.6	35.7	12.9	0.6
30代(男性)	100.0 (532)	2.6	35.7	41.0	20.7	0.0
	100.0 (502)	8.4	42.4	35.7	12.7	0.8
30代(女性)	100.0 (638)	1.4	31.0	38.2	29.3	0.0
	100.0 (628)	8.1	42.7	35.7	13.1	0.5
40代(男女計)	100.0 (149)	1.3	34.2	43.0	21.5	0.0
	100.0 (1,220)	8.0	44.4	34.8	12.5	0.2
40代(男性)	100.0 (119)	1.7	37.8	41.2	19.3	0.0
	100.0 (556)	6.7	42.8	38.1	12.4	-
40代(女性)	100.0 (30)	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0
	100.0 (664)	9.0	45.8	32.1	12.7	0.5
夫婦だけ世帯(男女計)	100.0 (1,609)	29.8	44.3	20.4	5.3	0.2
親と子世帯(男女計)	100.0 (3,573)	14.6	44.0	29.7	11.3	0.4

(注) 上段は「育児と仕事の両立に関する調査」結果、下段(網掛)は「平成14年度国民生活に関する世論調査」結果

- 同じ年代を比較すると、20代、30代、40代のいずれでも、今回調査の回答者は『国民生活に関する世論調査』に比べ、「ゆとりがある」と回答する率が低く「ゆとりがない」が高い。これは、今回調査の回答者を「就学前の子供がいる雇用者」に限定しているためと思われ、今回調査の回答者集団そのものの特性であるかどうかはわからない。『世論調査』でも、夫婦だけ世帯に比べて子供がいる世帯の方が「ゆとりがない」割合が高い。

(参考) 回答者の属性

		(人)	
		育児と仕事の両立に関する調査	平成14年度国民生活に関する世論調査
合計	20代	728	839
	30代	1,170	1,130
	40代	149	1,220
	50代	0	1,522
	60代	0	1,442
	70歳以上	0	1,094
	計	2,047	7,247
男性	20代	391	404
	30代	532	502
	40代	119	556
	50代	0	690
	60代	0	683
	70歳以上	0	517
	計	1,042	3,352
女性	20代	337	435
	30代	638	628
	40代	30	664
	50代	0	832
	60代	0	759
	70歳以上	0	577
	計	1,005	3,895

所得水準

- ・世帯全体の年収

「平成13年度国民生活基礎調査」（厚生労働省）との比較

所得水準(世帯全体の年収)「育児と仕事の両立に関する調査」

(%)

	回答者数(人)	200万円未満	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000～1200万円	1200万円以上	不明
合計	100.0 (2,047)	2.9	15.3	35.2	23.6	11.8	4.6	3.8	2.7
男性	100.0 (1,042)	1.5	13.5	39.9	23.8	9.5	5.3	3.3	3.2
女性	100.0 (1,005)	4.4	17.1	30.3	23.5	14.2	3.9	4.3	2.3
20代(男女計)	100.0 (728)	3.3	24.7	42.9	16.8	4.4	2.7	2.6	2.6
30代(男女計)	100.0 (1,170)	2.7	10.7	32.6	28.3	14.5	4.7	3.8	2.6
40代(男女計)	100.0 (149)	2.7	5.4	18.8	20.8	26.8	12.8	8.7	4.0

特定世帯の所得金額階級別世帯数の分布「平成13年国民生活基礎調査」

(%)

	世帯数(世帯)	200万円未満	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000万円以上
全世帯	100.0 (45,664)	16.3	23.2	19.7	14.5	10.5	15.8
児童のいる世帯	100.0 (13,156)	5.6	14.9	23.8	21.3	15.5	18.8

- 今回調査は、年収 800 万円未満の割合が 77%、800 万円以上は 20.2%である。『国民生活基礎調査』の「児童のいる世帯」（児童＝18 歳未満）では、800 万円未満が 65.6%、800 万円以上が 34.3%である。今回調査は、「就学前の子供がいる雇用者の世帯収入」、国民生活基礎調査は「18 歳未満の児童がいる世帯の世帯収入」を質問しており、子供の年齢が後者が高いことが影響していると考えられ、今回調査の回答者集団の特性といえるかどうかはわからない。

育児や介護と仕事の両立に関する調査 報告書

2003 年 9 月

日本労働研究機構 計量情報部

東京都練馬区上石神井 4-8-23 〒177-8502

電話 (03) 5903-6273

※2003 年 10 月 1 日以降の問合せ先: 独立行政法人労働政策研究・研修機構 情報解析部 (連絡先は同上)